

## I 第21週の発生動向 (2009/5/18~2009/5/24)

1. インフルエンザについては、再び増加傾向になりました。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎については、上十三保健所管内において、前週に引き続き**警報**が発令されています。

## II 第21週五類感染症定点把握 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数	東地方(再掲)		青森市(再掲)		定点数					
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点
小児科 内科 (85) インフルエンザ	31	2.2	16	1.1	16	1.1			23	2.6	3	0.5	89	1.4	31					31	2.6				
小児科	(74) RSウイルス感染症	1	0.1	3	0.3			1	0.2				5	0.1	3					1	0.1				
	(75) 咽頭結膜熱	4	0.4	3	0.3	2	0.2					7	1.8	16	0.4	-1				4	0.5				
	(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12	1.3	18	2.0	18	2.0	4	0.8	47	7.8	7	1.8	106	2.5	13				12	1.5				
	(77) 感染性胃腸炎	70	7.8	18	2.0	12	1.3	15	3.0	11	1.8	45	11.3	171	4.1	-12	24	24.0	46	5.8					
	(78) 水痘	17	1.9	1	0.1	4	0.4	5	1.0	6	1.0	3	0.8	36	0.9	-41				17	2.1				
	(79) 手足口病	27	3.0	1	0.1	1	0.1			2	0.3			31	0.7	23				27	3.4				
	(80) 伝染性紅斑	6	0.7	2	0.2									8	0.2	-4				6	0.8				
	(81) 突発性発しん	4	0.4	1	0.1	1	0.1			4	0.7	1	0.3	11	0.3	-12	1	1.0	3	0.4					
	(82) 百日咳	1	0.1											1	0.0	0				1	0.1				
	(83) ヘルパンギーナ															-1									
(84) 流行性耳下腺炎	8	0.9	3	0.3			3	0.6	1	0.2	1	0.3	16	0.4	2				8	1.0					
眼科	(86) 急性出血性結膜炎														0										
	(87) 流行性角結膜炎	1	0.5	1	0.3			2	2.0				4	0.4	-2				1	0.5					
基幹	(95) マイコプラズマ肺炎			2	2.0	2	2.0					2	2.0	6	1.0	0									

保健所名	定点数			
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	眼科	基幹
東地方	2	1	0	0
青森市	12	8	2	1
弘前	15	9	3	1
八戸	14	9	2	1
五所川原	7	5	1	1
上十三	9	6	2	1
むつ	6	4	1	1
合計	65	42	11	6

■は警報、■は注意報。「空欄」：患者発生無し。

## III 表II以外の感染症法対象疾患 (注：届出数は速報値です)

- (9) 結核(二類全数把握疾患)：弘前3人、八戸4人、上十三1人、青森市1人 (21年計：137人)
- (14) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患)：むつ2人 (21年計：5人)
- (55) レジオネラ症(四類全数把握疾患)：弘前1人 (21年計：3人)

過去の全数把握疾患については、月報をご覧ください。

## 感染症の窓

# 腸管出血性大腸菌感染症 (三類感染症)

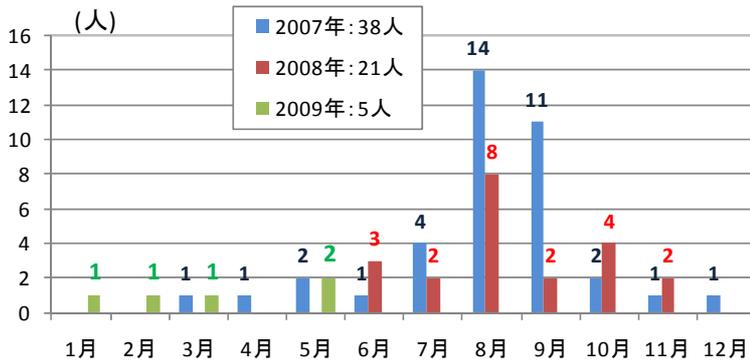


図1 月別推移(青森県 2007-2009 第21週現在)

保健所管内	血清型		
	O157	O165	O111
東地方	0	1	0
弘前	0	0	0
八戸	0	0	0
五所川原	0	0	0
上十三	0	0	0
むつ	0	0	2
青森市	1	1	0

図2 保健所管内別届出数 (2009年青森県)

2009年の本疾患の届出数は、第21週現在5人となりました。本疾患は、7月以降、増加する傾向にあることから、これからの季節において注意が必要です(図1)。血清型別については、O157型が多い傾向にありましたが、本年は、O157の他にO165、O111が検出されています(図2)。症状の多くは、腹痛、水様性下痢で、HUS(溶血性尿毒症症候群)を発症している事例もあり、発症年齢は2歳から70歳代までの、幼児や高齢者でした。本感染症は経口的に感染し、患者の世話をした感染した事例もあったことから、**手洗いの励行**が重要です。また、食品の十分な加熱をするなどの注意が必要です。

#### IV インフルエンザ情報 第21週 (5/18~5/24)

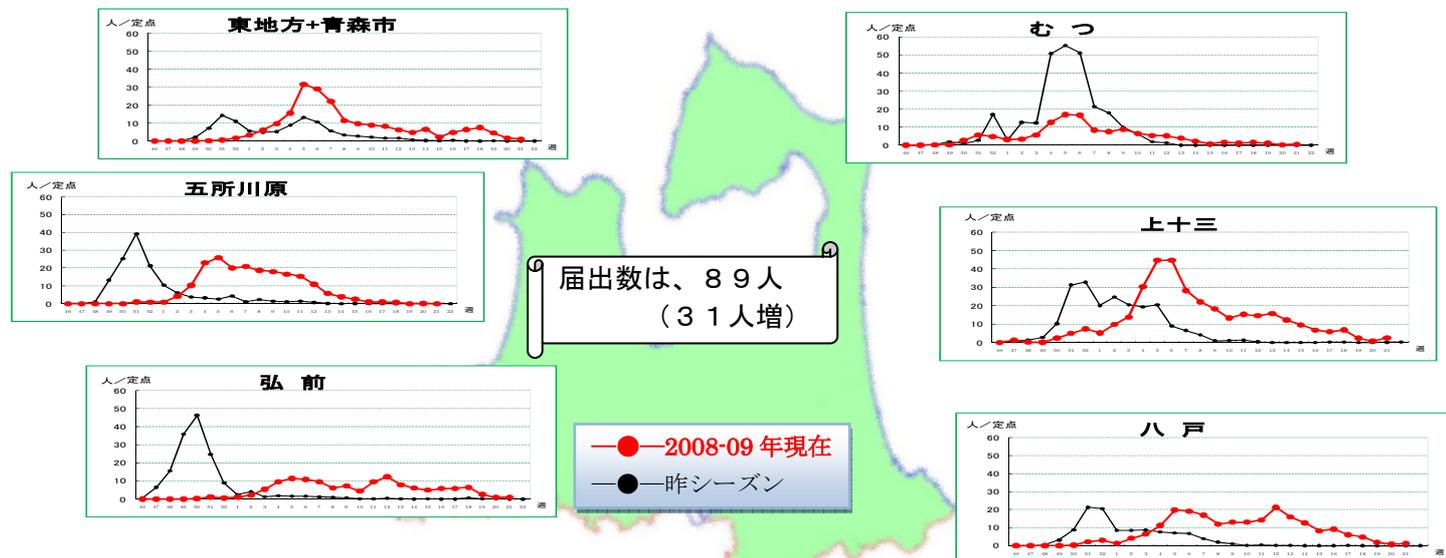
迅速診断キットによる型別は、以下の通りです。

	東地方	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ	青森市
インフルエンザ報告数	0	16	16	0	23	3	31
A型	0	0	0	0	0	1	0
B型	0	16	14	0	23	2	31

県全体の届出数は再び増加しました。前週に引き続き B 型の検出が見られていることから今後もインフルエンザ感染予防対策を継続することが大切です。

#### V 保健所管内別インフルエンザ届出数推移

\* Adobe Reader は、最新のバージョンをお願いいたします。



#### VI 全国及び青森県におけるインフルエンザ届出数推移 (2007-2008 シーズン - 2008-2009 シーズン)



#### VII 新型インフルエンザ情報

(2009年5月27日 午後7時速報値)

現在、新型インフルエンザ感染患者は米国、メキシコ、カナダ、スペイン、英国、パナマ、チリ、コスタリカ、フランス、イタリア、コロンビア、中国、ニュージーランド、ベルギー、イスラエル、エルサルバドル、韓国など46カ国で確認され、合計12,954人が報告されています(2009年5月27日 午後7時速報値)。

日本国内の報告数は、5月27日12時現在352人です(速報値)。

厚生労働省では、

- ・正しい情報に基づいた冷静な対応
- ・発生国への渡航を避けること
- ・手洗いやマスクの着用、うがいの励行をお願いしています。

#### 新型インフルエンザ医療相談センター窓口

保健所名	電話番号
東地方保健所	017-741-8116
弘前保健所	0172-33-8521
八戸保健所	0178-27-5111
五所川原保健所	0173-34-2108
上十三保健所	0176-23-1996
むつ保健所	0175-24-1231
青森市保健所	017-765-5282

受付時間は、平日及び祝祭日ともに、午前8:30~午後5:30です。

(窓口開設期間: 2009年5月28日現在)

平成21年5月18日以降、地方衛生研究所(環境保健センター)及び検疫所において判明した結果をもって、新型インフルエンザ患者の確定とすることになりました。厚生労働省